

- 梶原町は、高齢化が非常に進んでおり、**地域福祉の充実、若者の移住促進や雇用の創出が重要な課題**
- 道の駅を地域の自然を活用し健康増進を図る『ゆすはらまるごとクリニック』構想の拠点施設と位置付け、森林浴や温泉、スポーツを通し健康を再生
- 道の駅において空き家や雇用情報を一元的に提供し若者の移住を促進、さらに道の駅の直売所を増設し地域産業を育成するとともに地域の観光窓口として地域の観光名所や宿泊予約、体験ツアーの紹介を行うことで**地域の観光産業を発展、雇用を創出**

<地方創生拠点としての機能>

地域センター型

地域振興
地域資源の活用(人・物・環境)

地域福祉
するはら丸ごとクリニック

観光総合案内
梶原全域のゲートウェイ

移住定住等促進
移住定住情報のワンストップ提供

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ゆすはら	高知県	梶原町	国道197号	既設	平成5年	単独型

道の駅を活用した地域住民の健康増進対策

(「ゆすはらまるごとクリニック(※)」の拠点施設としての位置づけ)

◆太郎川公園(改修)
森林散策等を通じた健康増進



セラピーロード
(散策路)

※「ゆすはらまるごとクリニック構想」
地域資源を活かし、地域施設が連携することで地域の人が健康を再生し人との絆を深める場を提供する取組

◆直売所・レストラン(増設)

新鮮な地元直産品を食べて健康増進



直売所(雲の上市場) 四万十川のアユ

観光窓口

観光案内施設の設置、宿泊予約の実施、無線LAN、EV充電



四国カルスト高原

福祉対策

道の駅での森林浴、温泉、スポーツの場の提供



キャンプ場施設
(太郎川公園)

道の駅による
総合的な地域
活性化対策



雇用対策

直売所の増設、道の駅での新たな雇用



四万十源流 棚田米 梶原町の名産 しいたけ

移住支援

道の駅で一元的に空き家情報や雇用情報を提供



農業体験の様子

道の駅の施設計画の見直し・大規模改修を実施

(プロジェクトチームを構成、東京大学 隈研吾教授に検討依頼)

<提案の先駆性・ポイント>

- 高齢化率42%という極度の高齢化という地域の課題に対し、福祉・移住支援・産業育成の多面的な観点から地域の拠点として道の駅を活用。
- 地域の自然を活用し健康増進を図る「ゆすはらまるごとクリニック」構想の中心施設としてまちづくりと一帯となって道の駅を活用

<実施内容>

- 「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設として森林浴やフィットネスなど健康再生施設を整備し総合的な福祉対策を実施
- 移住窓口として空き家や雇用情報を一元的に提供する総合案内所を整備
- 直売所の増設や域内の観光情報の提供により新たな雇用を創出
- 再生可能エネルギーを利用したEV充電器を整備するなど先進的な環境対策

◆プール・フィットネス施設(改修)

トレーニングによる基礎体力の増強



温水プール フィットネス施設

◆雲の上ホテル・温泉施設(改修)

ホテルや温泉での休憩を通して体力回復



雲の上ホテル 温泉施設